

ポータブルナビゲーション ココデス

「軽トラだし、ナビはスマホのアプリで十分」と思っている人に、オススメしたいケンウッドのポータブルナビ「ココデス」。シンプルかつ必須十二分なナビ機能に加え、「最初から付いてたらしいのに」という“あの機能”も標準装備。ということで今回、美人女性ライターが軽トラに乗ってキャンプ場へ行き、その実力を実感してもらいました!

深山 幸代=文
Text by Sachiyo Miyama
本間 章悟、ケンウッド=写真
Photographs by Shogo Homma & KENWOOD
(問)JVCケンウッド カスタマーサポートセンター
tel.0570-010-114(携帯・PHS)
0120-2727-87(固定電話)
<https://www.kenwood.com/jp/car/portable-navi>



カーナビならではの安心感とポータブルならではのお手頃感
アウトドア人気が加速している中、カスタムした軽トラで行く、トラキャンが注目されるなど、時代とともにキャンプスタイルも変化しています。軽トラは購入費用から維持費まで低コストなのが魅力の一つですが、オプションでナビを付けると急に値段が上がるため、スマートフォンのナビを使うという人も多いですね。
確かにスマホは手軽で便利ですが、画面が小さく、今回のようにキャンプ場のような山岳部になると電波状況によっては使えなくなったり、使用中に現在地がズレたり、また他のアプリの通知等で肝心なところで案内が見えない、なんて事も少なくありません。そこで紹介したいのがズバリ、ケンウッド

「ココです案内」とは、曲がる場所を音声で教えてくれるだけでなく、ナビ画面上に矢印と距離をカウントダウンするメータが表示される優れたもの。曲がる場所がひと目で分かるように300メートル手前からブルーに100メートル手前になるとオレンジに表示され、今回のように慣れない道でも安心して運転できるようサポートしてくれます。
画面操作は簡単スマホライクなタッチパネル方式を採用。地図の拡大・縮小はピンチイン・ピンチアウトができ

サクサク動くので、テンポが遅れることもありません。
同乗者にも優しい「ココデス」一番欲しい機能が標準装備!
「ココデス」には、ドライバーモードと助手席モードが選べる仕組みになっていて、助手席モードを選択すれば、走行中にも同乗者がナビの操作やTV鑑賞が可能に。地図とAVの2画面表示ができるので、移動中も同乗者が快適な時間を過ごせるよう配慮されているのも大きなポイントです。
コスバ抜群の「ココデス」で、安快道なドライブ&キャンプを体験してみたいかがでしょうか。

欲しい機能だけが詰まった最強ポータブルナビ



静電容量式パネル採用により、スマホの普及で当たり前になっているフリック、ピンチ、タッチといった指先操作で画面をコントロール。さらにメニュー画面や現在地表示は物理ボタンでも操作できるなど、ドライバーが迷わない装備になっている

現在地表示&メニュー画面は物理ボタンでも操作可能

Point 02

目盛りや矢印の色が変わる明解ガイド「ここです案内」

「彩速ナビ」で実績を積んだ「わかりやすさ」「使いやすさ」を継承。中でも今回一番のウリなのが「彩速ナビ」でも高評価だった「ここです案内」だ。音声のほか、矢印と色の変化で曲がるタイミングを案内してくれるので、方向がひと目でわかりやすい



案内する分岐点の約300メートル(高速道路は約1キロ)手前から表示を開始、100メートルまで近づくと目盛りや矢印の色が青からオレンジに変化する明解表示

Point 03

はじめて使う人でもわかりやすい地図表示とメニュー画面

新しいカーナビの使いはじめて困るのが、操作が不明なこと。「ココデス」はそこもユーザーに寄り添い、使う人にとってわかりやすい・使いやすいを徹底的に追求。「彩速ナビ」で実績のあるインクリメントP社の地図を採用、シンプルかつ簡潔な地図表示も好印象



3D交差点イラスト表示 ETCレーンガイド 目的地設定

メインメニューの表示も非常に明解。その先の検索方法や設定の変更なども誰が見てもわかりやすい表示。ちなみにナビ機能は3サイズで共通だ

Point 04

同乗者がエンタメ機能を楽しめる「助手席モード」を標準搭載!



運転中のドライバーさんは見ちゃダメですよ

より便利に使うならリアビューカメラ

「ココデス」に別売カメラ「CMOS-230」をつなぐとリアビューカメラの映像を表示することが可能。カメラはブラックとホワイトの2色をラインナップ



リアビューカメラ映像

脱着が簡単なので旅行先でもエンタメ機能としてフルに活用できる

「ココデス」は専用スタンドから簡単に取り外すことが可能。例えばキャン

プ場など、車の外でもエンタメ機能が手軽に楽しめるスクレモノなのだ



渋滞等でも「ココデス」は大活躍。「助手席モード」に切り替えると、TV視聴や音楽/映像再生を走行中であっても同乗者が楽しめる。この機能はオプションパーツを追加して搭載される商品もあるが、「ココデス」は標準装備。このユーザー目線の設定が嬉しい!



「地図&AV2画面表示」にすればナビゲーション画面と地デジ、またはSDカード挿入で視聴できるビデオやビクターの画面を左右に分割しての表示も可能になる

Point 01

モニター画面は3つのサイズから選べる

ナビの画面は5V型、7V型、9V型の3モデルをラインナップ。試しにデモカーのスーパーキャリイに3サイズすべて載せてみた。9V型も魅力だが(実際センターパネルの横幅にジャストフィット)「直前・直左」の視界確保を考慮、7V型を今回はチョイスした



K-TRUCK STYLE RECOMMEND ITEMS 01



案内表示が分かりやすくてこれはいいですね

レポーター 深山 幸代

モデルの仕事もしつつクルマについて目下鋭意勉強中という、現在モータージャーナリスト見習いの彼女。趣味はドライブで気持ちの良いコースを探すこと。ドライブがてらお洒落なカフェやご飯屋さんに行くことも楽しみのひとつ